

| 施策概要 | | | | 実施結果 | | 施策の分析 1次評価(主務課) | | 施策の方向性 | | | | | 町としての評価 | |
|---------------|---|------|-------|--|--------------|--------------------|-----|--------|-----|-----|---|---|---------------------|------------|
| 施策名 | 施策目標 | コード | 主務課 | 内容 | 総コスト (千円) | 達成度 | 必要性 | 重点化 | 見直し | その他 | 短期(次年度の方向性) | 中期 | 達成状況 | 施策の 方向性 |
| 生涯学習の推進 | 住民一人ひとりが、それぞれの年代や生活スタイルに応じて、自由に学び、楽しみ、その成果が豊かな地域づくりに反映されています。 | 1010 | 生涯学習課 | ・学習意欲の契機づけとして、ましこいきいき講座(町民編・行政編)を実施した。 ・自主教室の受講者募集等、教室の開設を支援した。 ・生涯学習の興味関心を高めるため生涯学習振興大会の開催した。 ・情報提供として「広報ましこ」に毎月、生涯学習関連記事(学びの広場)を掲載した。 ・「学習ガイドブック」や「生涯学習推進員活動ハンドブック」を刊行し、学習機会の情報提供を行った。 | 40,346 | B | B | | | ● | 今後の生涯学習推進の中心を担うと考えていた男性の団塊世代の多くが働いている現状では、現在の自主教室やいきいき講座を中心とした施策を推進する。また、社会教育と連携した施策を取り組んでいく。 | 庁内組織の生涯学習推進本部や町民代表で組織している生涯学習推進協議会で今後の生涯学習を検討し推進して行く。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 学校教育の推進 | 郷土への誇りと人を思いやるやさしさを持ち、生きる力と生涯にわたって学び続ける意欲を持った子どもたちが育っています。 | 1020 | 学校教育課 | ・外国語指導助手の活用や中学生海外派遣などを通して、国際理解教育を推進した。 ・障害のある子どもたちが、障害の程度に応じて適切な教育を受けられるような体制づくりをした。 ・学校生活適応指導教室やスクールカウンセラーの充実により不登校の子どもたちの学習機会の確保を図った。 ・安全面や衛生面などに配慮しながら、学校施設・設備の計画的な改修改築を実施した。 | 573,887 | B | B | ● | | | ・学校・教育委員会が連携を密にし保護者の理解が得られるような就学相談を適切に行う。 ・国際理解教育の基本となる学力の習得を図り国際社会の一員として自覚の持てる児童・生徒の育成をする。 | ・就学相談における保護者への説明や専門的知識の向上を図る。 ・21世紀を生きるに「ましこの人の育成」を図る。 | B: 順調に成果 があがっている | A: 重点施策 |
| 社会教育の推進 | まちの社会教育活動への参加率が上昇を続けるとともに、参加者から高い満足度が得られています。 | 1030 | 生涯学習課 | 手編み教室、パッチワーク教室、パソコン教室(デジカメ活用)、高齢者学級を各地区(田野、益子、七井)ごとに実施。また、社会参画を旨とした女性講座を開設。町民が講師となりリクエストに応じて講座を開設する「いきいき講座」の開設。家庭教育学級を町内全幼稚園・保育園・小学校・中学校で開設。小学校高学年を対象としたトライやるスクール(体験活動)の開設。青少年健全育成大会、人権講演会、二十歳のつどいの開催。図書(一般書・児童書)の購入。 | 31,676 | B | B | | | ● | ・社会教育各種講座における町民ニーズの把握のため、講座修了後アンケートを実施し、その内容を検討するとともに、常に住民とのコミュニケーションを図る。 ・社会教育の各種事業の充実を図る。 | 社会教育事業についてのマンネリ化の回避及び各種大会等の必要性や効果的について検討を加える。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 生涯スポーツの推進 | 子どもから高齢者まで、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加し、楽しみ、交流を深め、健康増進と自己実現につながっています。 | 1040 | 生涯学習課 | 町民に運動する習慣をつけてもらう、そのきっかけづくりとしてチャレンジデー2011に4年連続で参加した。小中学生から一般までの51チーム参加の下、第30回町駅伝競走大会を開催した。小中学生を対象に「子ども達に夢を」として一流アスリートを講師に招いての少年スポーツ教室(9種目)を開催した。町内の小中学校(6校)と高校施設(1校)の学校開放事業を行い、身近な場所でのスポーツをする場を提供している。総合型地域スポーツクラブの設立については、7月に設立準備委員会を立ち上げ、25年2月設立に向け、準備を進めている。施設面では、南運動公園テニスコートにナイター照明施設を整備したのを始め、3.11の東日本大震災で被害を受けた総合体育館他4施設の修理工事を実施、早期復旧を図ると共に、総合体育場・北公園・南運動公園・北運動場の適正な維持管理を行い、町民のスポーツの場を確保した。 | 113,440 | B | B | ● | | | 総合型クラブについては、適正な人材の発掘に努めていく。施設の適正な整備と維持管理を図るため、北運動場テニスコートの改修計画と南運動公園の芝の適正な管理方法・改修方法を研修し、早期の改修を図っていく。 | 子供から高齢者まですべての世代の住民が気軽にスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブの育成を図っていく。各種教室やイベントにより、参加者の拡大を図ると共に、自主グループ活動や指導者の育成を支援していく。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 芸術・文化の振興 | 私たちの誇りである伝統・文化財がみんなの手で大切に守られているとともに、住民一人ひとりが豊かな文化にふれながら生活し、意欲的な文化活動により、新たな地域文化が誕生しています。 | 1050 | 生涯学習課 | 文化財保護審議会の開催、文化財改修工事への補助、文化財防火訓練の実施、民俗芸能への継承支援等を行った。町民会館については、災害の修復工事が年度内に終了し、「はたちのつどい」から使用可能になり、ピアノ発表会等実施された。ホール部門を除く各文化部門での文化祭を実施。 | 132,933 | B | A | | | ● | 文化遺産活用の事業を実施することにより、文化遺産の情報発信が充実する。町民会館の自主事業については、町のホームページで意見の集約を図り、年齢層に応じた要望を把握した事業の計画に努め、顧客満足度、集客数増を図る。 | 文化遺産、質の高い舞台発表、町出身のアーティスト等、より身近に感じられるような事業の検討をしていく。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 国際交流・地域間交流の促進 | 多様な分野で、まちの個性を活かした国際交流・地域間交流が進められ、人づくりとまちづくりにつながっています。 | 1060 | 総務課 | 小学生の雄武町派遣は、益子町地域間交流協会の主催で7月に実施された。中学生のオーストラリア・ケアンズ市への派遣事業は11月に実施した。また、国道121号の縁から山形県米沢市や福島県喜多方市、会津若松市との新たな交流も生まれた。外国人を支援するため、県国際課が作成している外国人向け生活情報紙を住民課窓口を設置した。 | 238 | B | B | | | ● | 国内外にわたる交流事業は、今後も継続していく。交流の方法や派遣国の選定などを検討する。また、交流を全庁的に進めるには、庁内の交流推進体制を整える。 | 交流の深化によって思わぬ効果を得ることも多く、人づくりやまちづくりにとって大きな契機となるため、諸地域との交流は可能な範囲で拡大していく。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 男女共同参画の促進 | 男女が互いの人権を尊重しつつ、責任を分かちあい、個性と能力を十分に発揮しています。 | 1070 | 生涯学習課 | 男女共同参画の普及・啓発のためポスター・チラシの掲示を行った。女性団体連絡協議会の活動並びに各女性組織についても、研修会や事業の企画立案等の支援を行う一方、幅広い知識と技能を身につけるための女性講座については10回開催した。ましこ男女共同参画プランの策定をした。 | 6,047 | B | A | | | ● | ・男女共同参画の意識啓発。 ・女性団体の組織強化及び他団体へも理解を呼びかける。 | ・女性が活躍できるまちづくりを進めるため、各委員会において女性の参画率を高める。 ・女性の地位や知識向上のための講座の内容充実を図っていく。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 人権の尊重 | だれもがかげがえのない人間として尊重される、差別のない平等なまちづくりが進められています。 | 1080 | 総務課 | ・6月1日の「人権擁護委員の日」に合わせ、広報6月号において人権啓発の記事及び人権擁護委員の紹介を掲載した。 ・各小中学校においては、「人権の花運動」や「人権に関する映画会」などを開催して児童・生徒に啓発活動を行った。 ・人権相談を福祉センターで6月、8月、12月、2月の4回実施した。(広報紙やお知らせ版で周知) | 633 | B | A | | | ● | 平成22年度に1名増員し、5名体制となった人権擁護委員とともに、相談・啓発を強化していく。 小学校での「人権の花運動」、中学校での「人権に関する映画会」開催時に、いじめについて人権擁護委員が児童・生徒に講話を行う。 | 社会的問題となっている児童虐待などの人権侵害への対策を強化する。 | B: 順調に成果 があがっている | B: 現状どおり |
| 生涯を通じた健康づくり | 住民一人ひとりが生涯を通じて自ら健康づくりに取り組む、健やかなまちづくりが進められています。 | 2010 | 健康福祉課 | 集団健診の受診率向上に努めた。栄養食生活については食生活改善推進員とともに栄養改善事業を実施した。管理栄養士による朝食の勧めを乳幼児検診時に普及した。喫煙については小学生に対して吸わない教育を実施した。また、喫煙者に対する禁煙教育に努めた。虫歯予防の教育に努めた。こころの健康について心のダイヤルのPRに努めた。また、講演会「食と心の健康」を実施した。子育ての不安な母親に対してのファシリテーターの育成を行い講座を開催した。運動に対しては広報誌に益子町ウォーキングマップ(有楽塾作成)を掲載した。運動の自主グループへの支援を行った。母子保健については赤ちゃんの全戸訪問・乳幼児健診の受診率の向上に努めた。予防接種においては小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの助成を行った。食育推進会議を開催し食育推進計画書を作成した。 | 166,069 | B | A | ● | | | 運動教室については生涯学習課と連携をとりながら進めていく。栄養事業については食育基本計画に沿って事業を展開していく。禁煙対策については学校教育課と連携して子供のうちから吸わない教育を実施していく。成人の健診事業については国保との連携を密にして未受診対策を進める。母子保健については育児支援の充実を図り健全な子供を育てられるようきめ細かな配慮をし支援する。 | 各課との連携を密にして事業を展開していく 成人病予防対策 母子保健の充実 | B: 順調に成果 があがっている | A: 重点施策 |

| 施策概要 | | | | 実施結果 | | | 施策の分析 1次評価(主務課) | | 施策の方向性 | | | | | 町としての評価 | |
|--------------|--|------|--------|--|--------------|-----|--------------------|-----|--------|----------------|---|--|----------------|------------|--|
| 施策名 | 施策目標 | コード | 主務課 | 内容 | 総コスト (千円) | 達成度 | 必要性 | 重点化 | 見直し | その他 | 短期(次年度の方向性) | 中期 | 達成状況 | 施策の 方向性 | |
| 地域医療体制の充実 | 身近なかかりつけ医から高度医療まで、安心して医療を受けられる体制が整っています。 | 2020 | 健康福祉課 | 医師会・歯科医師会との町全体の保健予防について打ち合わせ会議を実施した。「かかりつけ医」の奨励に努めた。芳賀地区救急医療センターのPRに努めた。町休日当番医制を実施している。 | 5,428 | C | A | ● | | | 「かかりつけ医」の意識付けが大切であるため広報誌やお知らせ版、その他いろいろな保健支援場面でも「かかりつけ医」を持ちましようとしてPRしていく。また、無医地区解消に向け、町医師会と相談し医師確保に向け更に努力する。芳賀地区救急医療センターのPRに努める。 | 高機能、専門医療サービスについては近隣市町と連携していく。 | C:最終目標達成が難しい | A:重点施策 | |
| 地域福祉の推進 | だれもが住み慣れた地域社会のなかで、自立し、安心して暮らしています。 | 2030 | 健康福祉課 | ・社会福祉協議会へ補助金24,277,000円を支出した。 ・活動拠点である福祉センターの夜間警備、清掃及びエレベーター、自動ドア、消防設備等の保守管理。 ・第28回健康福祉まつりの開催(後援団体のまじこボランティアクラブと益子町社会福祉協議会と連携。) ・平成23年度益子町災害ボランティア研修会開催(参加者数 101人)(益子町社会福祉協議会主催) | 37,049 | B | A | | ● | | ・社会福祉協議会に登録のボランティアが減少していることへの対策として、引きつづき参加しやすいボランティア研修を実施し、ボランティアへの喚起を図る。 | ・地域福祉の推進については、引き続きその中核的な役割を持つ社会福祉協議会への適切な支援を行う。 ・地域福祉におけるボランティアの担う役割がふえていることから、社会福祉協会への登録だけでなく、ボランティアの参加形態について検討していく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 子育て支援の充実 | 子育てが社会全体で支えられ、子どもたちが心身ともに健やかに成長し、安心して子どもを産み、育てています。 | 2040 | 健康福祉課 | ・子育ての知識、情報の提供、相談に努め、多様な保育サービスや学童保育の充実を図った。 ・子ども手当の支給やこども医療費の助成を行った。 ・ひとり親家庭の支援として、児童扶養手当やひとり親家庭医療費助成を行った。 ・少子化問題への対応として、出産準備金の支給、不妊治療への助成を行った。 | 1,010,618 | B | B | ● | | | ・乳幼児検診等の受診勧奨を行い、個別支援が必要な場合は、家庭訪問等を行う。 ・ひとり親家庭の自立に必要な、職業能力の向上及び就職活動等就業についての情報提供、相談等の支援を行う。 | ・保育所・幼稚園や行政等との連携により、障害の早期発見や育児支援の必要な世帯の早期発見に努め、虐待防止につなげる。 | B:順調に成果があがっている | A:重点施策 | |
| 高齢者支援の充実 | 高齢者が誇りと生きがいを持ち、住み慣れた益子で安心していきいきと暮らしています。 | 2050 | 高齢者支援課 | ・シルバー人材センター補助金4,300,000円支出。 ・老人クラブ連合会へ補助金614,670円、単位老人クラブ31クラブへ補助金1,086,000円支出。 ・敬老のつどいを開催し、550人が参加。 ・介護予防事業「ご長寿・遊友クラブ」を田野、益子、七井各地区1箇所、延べ参加人数602人、「ふれあい学級」を埴地区1箇所、延べ参加人数115人、「いきいきクラブ」延べ参加人数482人、「ふれあい広場」を益子地区1箇所、延べ参加人数132人に実施。 ・地域包括支援センターによる高齢者及びその家族への相談・支援事業を419件実施。 ・介護予防ケアプランの1,879件作成。(うち委託数747件) | 1,361,829 | C | A | | ● | | ・シルバー人材センターの会員数を増やすためには、作業受託数を増やすことが重要であり、広く住民に周知するとともに、企業等への働きかけを強化する。 ・老人クラブについて、定年退職して間もない比較的若い世代の加入促進を図る。 ・介護予防意識の普及啓発を推進するとともに、介護予防教室は、自治会単位等住民の近隣で行う。 | ・高齢になっても、心豊かで健康な生活が送れるよう、若いうちからの健康管理の推進。シルバー人材センターの作業受託数及び会員数の向上。超高齢化した老人クラブの会員と、定年退職後間もない若い高齢者との交流及び別組織化の検討。ボランティア等社会参加の促進。介護予防教室の充実。 | C:最終目標達成が難しい | A:重点施策 | |
| 障がい者(児)福祉の充実 | 障がいがあっても住み慣れた地域で自立して生活し、多くの人に支えられながら、さまざまな活動にいきいきと参加しています。 | 2060 | 健康福祉課 | ・障害者自立支援(延べ給付件数2,906件、288,103,823円)、補装具給付(延べ給付件数50件、4,756,351円)、日常生活用具給付(延べ給付件数302件、給付金額5,661,482円)、地域生活支援事業(補助金額8,152,552)を実施した。 ・重度心身障害者医療費(給付件数1,425件、給付金額26,070,690円)の助成、自立支援医療(給付件数1,210件、給付金額26,876,553円)の給付を実施した。 ・障害者手帳の申請受付(101件)。 | 399,950 | B | A | | ● | ● 国策に合わせて継続 | ・サービス利用者への情報提供については、町から直接行うほか、福祉サービス提供事業者から利用者への行うこととなる。より適切・正確に行うため、福祉サービス提供事業者等との情報交換を密にしている。具体的には事業者及び障害者宅に積極的に訪問し情報を収集し共有する。 | ・利用者のニーズに即した支援が迅速、適切に受けられるように相談支援体制のあり方について検討していく。相談支援体制の構築については、サービス提供事業者が広範囲に存在するため、広域的な観点から検討していく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| ひとり親家庭福祉の充実 | 生活保護制度を基本とした福祉サービスの充実と就業の促進などにより、低所得者の生活の向上と自立を促進します。 | 2070 | 健康福祉課 | ・生活保護の相談及び申請受付を行った。 ・生活福祉資金制度などの経済的支援制度や年金、医療などの社会保障制度の有効活用を促進した。 | 505 | B | A | | | ● 現状維持 | ・生活保護制度を適正に運用するとともに、政府が実施する新たな制度の有効活用を図る。 | ・低所得者への支援の柱である生活保護制度は県所管の事務であるが、引き続き、芳賀福祉事務所、民生委員などと連携し、低所得者の自立へむけた情報提供や支援を行っていく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 医療年金保険制度の充実 | 少子・高齢化時代を社会全体で支える医療・年金保険制度の安定した運営が図られています。 | 2080 | 住民課 | ・国民健康保険被保険者8,650人に対し、114,072件、1,760,247,491円の保険給付費を行った。 ・特定健康診査を実施し、国民健康保険の被保険者1,699人、後期高齢者医療保険の被保険者262人が受診した。 | 1,985,174 | C | B | ● | | | ・医療費の支給は県内でも低い状況にあるが、特別会計の健全な運営のためには、国保税収納率を向上させ税収の確保に努めるとともに、ジェネリック医薬品の普及推進などにより医療費の増加傾向をとめることが必要である。 | 医療制度情報を的確に把握し、対応していくことが必要である。 | C:最終目標達成が難しい | A:重点施策 | |
| 自然環境の保全 | 生態系や水など、自然の循環メカニズムに対する保全措置がとられ、失われた自然が徐々に回復する、人と自然が共生するまちが実現しています。 | 3010 | 環境課 | 今年度は第5回目の「環境Weeks」を開催し、多くの町民の参加を得ることができた。また、自治会や環境関連ボランティア団体等の協力を得て百目鬼川・サヤド川の一斉清掃等河川環境保全活動を行い、ふるさとの川・里山フェスティバルを開催した。 | 6,175 | B | B | | ● | | 環境Weeksの参加人数が目標を達成できるような新たな参加者を開拓したい。里山地区の再生及び後継者育成のため、若者が参加する機会を設ける。 | 現在策定中の第2次環境基本計画を完成させ、そのリーディングプロジェクトを中心に環境保全や環境美化、環境学習を展開していく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 地球環境の保全 | 地球環境への負荷の軽減が図られた持続的発展可能な地球にやさしいまちづくりが実現しています。 | 3020 | 環境課 | 町においては、全公共施設を対象とした、地球温暖化防止実行計画に基づいて、平成19年度排出量の6%削減に取り組み平成23年度は10.8%の削減となった。また、町内事業者においても消費電力の少ない照明器具に変換している状況が見受けられた。クルマの休日による二酸化炭素排出量削減についても職員を対象に継続的に実施した。太陽光発電補助金についても、申請件数増加について、補正予算で対応した。 | 6,660 | B | A | | ● | | 太陽光発電補助金について、発電システムだけでなく、高効率給湯器、蓄電システムなども補助対象に含めたり、補助単価の引き下げを検討するなどして、より多くの省エネルギー設備の普及を図るとともに、財政負担の軽減を検討していく必要がある。 | 町民・事業者に対しては、引き続き可能な二酸化炭素排出削減に向けた取り組みを啓発していく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 快適な生活環境の確保 | 公害や散乱ごみのないまちで、快適で安全に暮らしています。 | 3030 | 環境課 | 工場等立入調査は9件実施した。野焼きについては19件指導した。資源物回収については72団体が実施し、奨励金を交付した。粗大ごみ個別回収制度も43件の利用があった。飼犬新規登録は86頭、狂犬病予防接種は1121頭実施。犬の捕獲については、15頭を愛護センターに引き渡している。動物の死体回収161頭。河川水質検査については、定点の18箇所について年2回実施した。 | 12,665 | B | A | ● | | | パトロール等により未然防止に努めるのはもとより、警察と連携して行為者を特定し、本人に処理させることにより再発防止に努める。家電4品目について、手続き方法を周知したい。春の集団接種が増加するよう十分PRする。 | 不法投棄防止に関する協議会等を設置し、組織的に活動することにより対策の強化を図っていく。 | B:順調に成果があがっている | A:重点施策 | |
| 景観の保全・形成 | 益子らしい落ち着いたうらおいのある景観が保全・創造されています。 | 3040 | 建設課 | 里山の保育管理を実施した。花いっぱい運動、まじこ花の博覧会を実施した。屋外広告物法による規制事務と違反広告物の除却活動を実施した。地区計画の届出事務を実施した。 | 28,324 | B | B | ● | | | 里山の保育管理、まじこ花のまちづくり事業等を継続して進めていく。 | 環境保全や美化活動等、住民参加の景観づくりを推進していく。景観条例の制定や景観計画の策定、景観地区の設定等について検討する。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |

| 施策概要 | | | | 実施結果 | | | 施策の分析 1次評価(主務課) | | 施策の方向性 | | | | | | 町としての評価 | |
|------------|--|------|-------|--|--------------|-----|--------------------|-----|--------|-----------|--|---|---|-----------------|------------|--|
| 施策名 | 施策目標 | コード | 主務課 | 内容 | 総コスト (千円) | 達成度 | 必要性 | 重点化 | 見直し | その他 | 短期(次年度の方向性) | | 中期 | 達成状況 | 施策の 方向性 | |
| 快適な住宅の整備促進 | 暮らしの基本となる良好な住環境が整備されています。 | 3050 | 建設課 | 町営住宅の補修等 木造住宅耐震診断補助事業PR 木造住宅耐震改修補助事業PR | 8,675 | A | A | | | | 町営住宅の補修等の対応。一般住宅については補助制度のPRを積極的に行い、耐震化の促進を進める | 町営住宅の老朽化している建物をどのように管理していくか改修を含め検討する。国、県の施策を住宅の耐震診断、改修等の補助制度の充実を図る。 | A: 計画を大きく上回る成果があがっている | B: 現状どおり | | |
| 公園・緑地の整備 | 公園・緑地が充実し、これを拠点に緑のネットワークが形成されています。 | 3060 | 建設課 | 既存公園に街灯を設置した。 既存公園施設の安全点検や、維持管理業務を実施した。 | 8,842 | B | B | | | | 既存公園の遊具等、施設の適切な管理に努める。 | 既存公園の遊具等、施設の適切な管理に努めていく。 新規の公園・緑地の整備については、土地区画整理事業等との一体整備によって進めていく。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | | |
| 河川・池沼の整備 | メダカやタナゴが泳ぎ、治水性や利水性、親水性に富んだ、みんなに愛される水環境が形成されています。 | 3070 | 建設課 | 山間部の土砂災害防止に関する危険箇所点検5箇所実施 河川等水質調査年2回14箇所実施 水生生物調査8組織においてそれぞれ実施 | 0 | B | B | | | ● 現状維持 | 山間地の土砂災害等危険箇所の点検継続。河川等の水質監視体制の継続。町民の協力を得て、河川の清掃、水質浄化活動に努める。 | 河川や池沼は治水、利水とともに親水面の役割の重要性が高まっており、改修も含め、町民の協力を得ながら水質の浄化や、水に親しむための取り組みを進めていく。河川整備や土地改良事業等においては、小動物や水生生物に配慮した多自然型工法を推進していく。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | | |
| 上水道の充実 | 良質な水が安定して供給されています。 | 380 | 建設課 | 芳賀中部上水道企業団の水道事業への運営支援(補助金) | 0 | B | B | | | | 芳賀中部上水道企業団の水道事業への運営支援(補助金) | 芳賀中部上水道企業団の水道事業への運営支援 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | | |
| 下水道の充実 | 生活排水が浄化され、清らかな河川と快適な居住環境が確保されています。 | 3090 | 建設課 | 下水道認可区域の計画的な整備及び適切な維持管理 未水洗化世帯に対して戸別訪問を実施し、啓発活動を行った 浄化槽は適切な維持管理について指導及び助言を行った | 485,498 | B | A | | | | 平成25年度まで七井地区の下水道整備を計画的に進めていく 農業集落排水については適切な維持管理と効率的な事業経営に努める 浄化槽について設置及び維持管理について普及促進に努める | 下水道の整備区域については水洗化への要望の高い区域を優先的に整備し投資効果を高める。また、整備要望の高い塙地区を重点的に進める。 農業集落排水については適切な維持管理と効率的な事業経営に努める。また、単独浄化槽から合併浄化槽への切替について適切な指導に努める。 | B: 順調に成果があがっている | A: 重点施策 | | |
| 資源循環型社会の形成 | ごみの排出が徹底的に抑制(リデュース)され、再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)される資源循環型のまちが形成されています。また、し尿が適切に処理されています。 | 3100 | 環境課 | ごみ減量に協賛する環境活動取組認定店を引き続き町民にPRしたほか、事業所についてはごみの分別徹底による可燃ごみ減量を推進した。地域においては、資源物回収事業を推進し、公共施設についてはコピー用紙の再利用、再資源化を推進した。ごみ処理施設広域化に向けた会議に参加した。 | 303,705 | C | A | | | | | ごみ処理施設広域化に伴う分別の徹底。生ごみの分別収集の徹底。 | 平成26年度から全町を対象に生ごみ分別収集堆肥化事業(生ごみ処理事業)を実施する予定である。 | C: 最終目標達成が難しい | A: 重点施策 | |
| 防災体制の充実 | 地域ぐるみであらゆる災害に対する予防体制と応急体制が整っています。 | 3110 | 総務課 | 全町の自主防災組織を対象に避難訓練を実施した。また七井地域の自主防災組織については北運動場を会場に防災訓練を行った。防災訓練のメニューは消火器や消火栓からの放水を行う初期消火などを体験した。また、イベントでは煙道の体験やはしご車搭乗体験や防災用品などの展示を行った。 災害時要援護者については、マニュアル案の作成、対象者リストの作成などを行った。 | 40,250 | B | B | | | | | 自主防災組織については、意識の高いうちに備品等の補助を含めて規約などをもって組織できるようサポートしていく。 食料等の備蓄に関しては、防災倉庫を建設し、備蓄場所を確保する。 | 自主防災組織については、活動を活発に行っていたり、地元の消防団、民生委員や婦人防火クラブなどの組織と連携を図る。備蓄物については、町の人口や災害時の想定避難者等をもとに数を算出しきちんと管理を行う。 | B: 順調に成果があがっている | A: 重点施策 | |
| 消防・救急体制の充実 | 日常の努力に裏付けられた、住民から信頼される消防・救急体制が確立しています。 | 3120 | 総務課 | 消防団員の確保については、団員の努力によって達成できた。消火栓、消防拠点施設等の整備については計画的に実施されている。平成23年度は消防拠点施設(北中)を整備した。 | 26,155 | B | B | | | | | 団員確保については、自治会等の協力を得て地域ぐるみで確保していく。 消火栓や防火水槽の建設はもとより、鉄蓋や表示看板についても定期的に点検し、更新していく。 | 水利台帳について、今後データ化することで必要箇所の洗い出しをしやすくしたり、消防団員と共有できるよう検討していく。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | |
| 防犯体制の充実 | 地域ぐるみの防犯体制により、犯罪の少ない明るいまちが実現しています。 | 3130 | 総務課 | 消防団等による防犯パトロールを1回実施し、合計68人の参加を得た。防犯灯は45基設置した。犯罪防止のためのパトロールは、関係機関が協力して実施したほか、交通指導車で200回の広報を行っているが、このうち約12回が振り込め詐欺と車上荒らし注意、188回が交通安全関係のための広報となっている。 | 3,024 | B | B | | | | | 犯罪の発生時期や場所などを分析し、的確な情報提供を行い犯罪の防止に寄与できるようにする。 | 犯罪を未然に防ぐ方法などについて周知、PRを継続して行うことにより、住民の意識高揚を図っていく。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | |
| 交通安全対策の充実 | 地域ぐるみで交通事故防止に取組、事故の少ない安全なまちが実現しています。 | 3140 | 総務課 | 安全教室の実施回数は、幼稚園・保育園が55回(4,487人)、高齢者が13回(210人)、各種団体(中学校を含む)が19回(1,549人)、小学校が29回(2,822人)、合計116回(9,068人)に対して実施することができた。安全施設については、ガードレール設置が24m、カーブミラー設置が9基(撤去を含む)、区画線が5箇所、その他標識類が3箇所となっている。 | 14,757 | B | A | | | | | まずは、危険箇所の洗い出しと写真や地図を作成し、交通安全教室の教材として整える。 | 年々少しずつ変化する交通事故の形態を分析しつつ、オリジナルの写真や地図を用いて意識の定着を図り、交通事故の減少に努めていく。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | |
| 消費生活の向上 | 住民一人ひとりが消費生活に正確な知識を持ち、安心して消費活動を行っています。 | 3150 | 観光商工課 | 「消費生活研究会」と共に出前講座を開催し啓発活動を行った。 ・電話、窓口での消費者相談を実施した。 ・自治会を通して町内世帯に対し啓発用広報綴りの配布を行った。 ・広報誌等に消費生活に関する情報を掲載した。 ・多重債務相談を行い、弁護士相談に引き継いだ。 | 2,420 | B | B | | | | | 県の消費者行政活性化事業費補助金を活用し、益子町役場敷地内に芳賀地区消費生活センターを建設、平成25年3月27日の開設を目指す。 | 芳賀地区消費生活センター運営、及び各町との調整。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | |
| 農林業の振興 | 意欲ある担い手によって魅力ある農林業生産活動が行われ、農地や山林の持つ多面的機能が発揮されています。 | 4010 | 農政課 | ・益子西部地区の県営基盤整備事業の支援及び益子町土地改良区への支援助言や農業生産基盤の強化のための芳賀台地区の畑地のパイプライン工事の完成に向けての支援を行った。また農地水保全管理支払交付金事業においては、活動組織への農業用施設の維持補修等に当たっての支援を行った。 ・農業生産においては、農業者戸別所得補償制度への切り替えにより畑作物の振興を図るとともに、耕作放棄地の積極的な解消による優良農地の確保と担い手への集積を進めた。また、集落営農組織の法人化や認定農業者の経営改善計画作成、各種農業資金に対する利子補給など、担い手への支援を行った。 ・道の駅関係については、検討委員会により基本構想の策定を行うとともに、引き続き農産物の高付加価値化としての益子ブランドづくりを行った。 ・とちぎの元気な森づくり事業を活用し、里山林の下刈り整備を行うとともに、木製ベンチの作製やイベントの開催により住民の森林に対する意識の醸成を図った。 | 256,418 | B | C | | | | | ・益子西部地区の基盤整備事業への支援 ・耕作放棄地の解消及び担い手への農地集積の推進 ・集落営農組合の組織化・法人化の推進 ・道の駅整備の推進 ・園芸作物の周年栽培の確立と6次産業化への支援 ・とちぎの元気な森づくり事業の推進 | ・人・農地プランの作成により、地域農業の将来像と地域担い手の役割を明確にするとともに、青年就農給付金の活用により新規就農者の確保を図っていく。また、土地利用型農業における規模拡大を推進し、効率的な農業経営を確立していく。 ・道の駅等の整備を進めるとともに、野菜等園芸作物の推進を図りながら、農業者の生産意欲と直売能力を高め、魅力ある農業を確立していく。 | C: 最終目標達成が難しい | A: 重点施策 | |

| 施策概要 | | | | 実施結果 | | 施策の分析 1次評価(主務課) | | 施策の方向性 | | | | | | 町としての評価 | |
|-------------|---|------|-------|---|--------------|--------------------|-----|--------|-----|-----------|---|--|----------------|---------|------------|
| 施策名 | 施策目標 | コード | 主務課 | 内容 | 総コスト (千円) | 達成度 | 必要性 | 重点化 | 見直し | その他 | 短期(次年度の方向性) | | 中期 | 達成状況 | 施策の 方向性 |
| 工業の振興 | 高い技術力に裏付けられた生産・建設が人びとの豊かな暮らしを支えています。 | 4020 | 観光商工課 | ・中小企業振興資金借入者に対し、借入時の信用保証料の1/2を補助金として交付した。又、中小企業振興資金借入者に対して23年度中に支払った利子を補助金として交付した。 ・大塚実基金貸付制度を運用し、作陶資金の貸付を行った。 ・大塚実基金設備購入補助金制度による補助金の交付を行った。 ・企業誘致問い合わせ対応を行った。 | 48,024 | C | B | ● | | | ・企業誘致の推進 ・益子焼作陶家への支援 ・新しい販路開拓 | 優良企業の誘致・立地。産業としての益子焼産業への支援 | C:最終目標達成が難しい | A:重点施策 | |
| 商業の振興 | 個店の魅力と回遊性の向上が相乗効果を生み、消費の安定につながっています。 | 4030 | 観光商工課 | ・中小企業振興資金借入者に対し、借入時の信用保証料の1/2を補助金として交付した。又、中小企業振興資金借入者に対して23年度中に支払った利子を補助金として交付した。 ・益子焼の販路拡張支援のため、益子焼協同組合と益子焼販売店協同組合に対して補助金の交付。 ・中心市街地の賑わい創出のため、商工会に対して補助金の交付。 ・商工会が主体となって行うプレミアム商品券発行事業に対しての補助金の交付。 | 16,275 | B | B | ● | | | ・益子焼関係団体振興協議会を中心とした取組みの推進。 ・商工会と連携しての経営支援と相談窓口の強化の継続。 ・中心市街地活性化のための空き店舗対策の推進。 ・益子焼の海外販路拡大。 | 商業活性化のための新たなプロジェクト、ビジネスの立ち上げ。 | B:順調に成果があがっている | A:重点施策 | |
| 観光の振興 | 焼きものの観光とグリーンツーリズムが融合し、すぐれた観光のまちづくりが実現しています。 | 4040 | 観光商工課 | ・山本地区において、農業と陶芸体験を絡めたラーニングパッケージ「益子そば物語」を企画実施してもらい、行政はその支援を行った。 ・東日本大震災時の多くのご支援に感謝をこめて、元気になった益子のPRと感謝に意を伝える為の「益子復興感謝市」や益子の良さを町外の方にもPRするための「益子市」の実施協力。 ・地域発信型映画「益子日和」の撮影協力。 ・陶器市では、春に「ビールの器」、秋に「そばの器」とテーマを設け、また、新たなイベントとして「マッシュラングリ」を実施した。 ・「雛めぐり」を、お客様のおもてなしとして実施した。 ・トイレ等公共施設の維持管理を実施。 | 99,742 | B | B | ● | | | ・既存のイベントのリピーター及び集客拡大を図るため、新たな企画の実施。 ・体験型観光推進のための団体・人材発掘及び育成。 | 益子の観光の方向性を見極めた上で、イベント等の見直しや、通年型観光地としメニューの充実を図り、滞在型観光地として発展させる。 | B:順調に成果があがっている | A:重点施策 | |
| 雇用・勤労者福祉の推進 | 住民一人ひとりが、職住近接のこの地で、多様な働き方を実現し、安心して楽しく働いています。 | 4050 | 観光商工課 | ・作陶家への独立開業支援として、大塚実基金から無利子での貸付を行った。 ・商工会総会において、永年優良従業員の町長表彰を行った。 ・ハローワークと連携し求人情報の提供を行った。 | 51,121 | C | A | | ● | | ・雇用機会拡大のための企業誘致の推進 ・大塚実基金制度の活発な活用の推進。 ・関係団体、グループとの活発な意見交換 | 雇用創出のための、益子の農業と観光を結びつけた新たなビジネスの展開。 | C:最終目標達成が難しい | A:重点施策 | |
| 計画的な土地利用の推進 | 乱開発のない秩序ある土地利用が図られています。 | 5010 | 企画課 | 益子町土地利用に関する事前指導要綱に基づく土地利用計画の申請について、7件の案件を各課と協議した。 (店舗用等地:1件、宅地及び建売:2件、その他4件) | 513 | B | A | | | ● 現状維持 | ・土地利用に関する事前指導要綱に基づく申請に関して周知徹底を図る。 ・関係課と情報交換を密にする。 | ・社会情勢や経済情勢を見極め、将来的に必要な土地利用がスムーズに実施できるように、虫食い開発を防止し、優良な土地を確保する。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 魅力的な市街地の形成 | 自然と歴史に調和したにぎわいと落ち着きのある都市空間が形成されています。 | 5020 | 建設課 | 新規の市街地整備地区の検討を進める。 | 6,958 | B | B | ● | | | 役場周辺地区において、事業化の研究・検討を進める。 | 役場周辺地区の市街地整備事業を推進していく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 道路網の充実 | 快適で安全な道路網が形成され、住民や観光客に評価されています。 | 5030 | 建設課 | 町道の改良、維持補修工事や国道121号線の歩道整備、主要地方道つくば・益子線の整備促進や更には一般県道西小場・真岡線、黒田・市場・真岡線、、場・上根線などの整備を継続要望した。 また、地域住民と共同による道普請事業を積極的に推進した。 | 485,693 | B | A | ● | | | 道路の交通安全の確保、管理者の責任において維持、管理を徹底する。 道普請事業を継続して推進する。橋の長寿命化に着手する | 道路整備については優先順位を考慮し計画的に進める。 補助事業等を積極的に活用し、財源の確保に努める。 | B:順調に成果があがっている | A:重点施策 | |
| 公共交通の充実 | 環境や人にやさしい公共交通が見直され、利用が徐々に増えています。 | 5040 | 企画課 | 真岡鐵道の経営安定化及び軌道等の設備に関する財政支援。 真岡鐵道利用促進を図るために真岡線利用補助金を対象団体に支給。 生活路線バス維持のための財政支援。 高齢者健康バス「すこやか号」の運行。 新たな公共交通構築に向けた「益子町地域公共交通総合連携計画」の作成。 | 33,744 | B | A | ● | | | 実証運行で得られるデータを分析し、本格運行に向けた運行を検討する。 「デマンドタクシー」の運行により「すこやか号」は運行中止となる。(H24.9.30) | 益子町地域公共交通総合連携計画に掲げられている、既存公共交通との連携を図る。 また安定した運行を行う。 | B:順調に成果があがっている | A:重点施策 | |
| 協働のまちづくりの推進 | 一人ひとりの創意と工夫がまちづくりに反映され、みな、まちづくりに意欲を燃やしています。 | 6010 | 総務課 | 広報紙やお知らせ版、防災無線による行政情報の広報。ホームページによる情報の発信。意見箱やパブリックコメントによる意見の把握を行った。 | 46,457 | B | A | | ● | | ホームページのシステム改修・リニューアルにより、情報発信のスピードアップを図るとともに、情報の質・量を充実させていく。また、各種委員会委員の公募については、詳細情報の提供により、多くの住民に関心を持ってもらえるよう、さらに広報を強化していく。 | 町民の声をさらに広く聴くための施策を確立していく。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 地域活動の活性化 | 住民一人ひとりが地域づくりに強い情熱を持ち、連帯感あふれる地域社会が形成されています。 | 6020 | 総務課 | ①活動の促進・個性的な地域づくりのため、独自の事業を行う自治会に地域整備推進事業補助金を交付した。 年間3回の自治会長会議を開催し、地域の代表者に情報等の提供を行った。 自治活動推進事業補助金を交付し、自治会運営を補助した。 ②活動拠点の整備・充実:地域づくりの拠点となる自治会公民館の修繕等に地域整備推進事業補助金を交付した。 | 38,388 | B | A | | ● | | 自治会加入率向上のため、広報活動を強化する。 | 広報活動を継続して行う。 自治会より統合事業が生じた場合は推進し、事務的な援助等を行う。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |
| 適切な行政運営 | 職員の意欲・能力の向上が図られ、効果的・効率的な行政組織が実現し、住民に信頼されています。 | 6030 | 総務課 | ①第5次総合振興計画後期基本計画、未来計画により行政運営を行い、東日本大震災からの復興のために震災復興のための行動計画を定めた。また、第4次行政改革大綱改訂版と実施計画を定めた。 ②職員の能力向上のため、近隣市町との合同研修や全職員対象のコミュニケーション研修等を行った。 ③効果的・効率的な行政運営のため、組織の見直しを行い部課長制を導入した。 ④住民サービス向上のため、土曜開庁の準備を行った。 | 216,059 | B | A | | ● | | 引き続き行政改革を推進する。 職員の資質向上のための研修を強化する。 | 適切な職員定数管理とともに外部委託(アウトソーシング)等導入を検討する。 | B:順調に成果があがっている | B:現状どおり | |

| 施策概要 | | | | 実施結果 | | 施策の分析 1次評価(主務課) | | 施策の方向性 | | | | | | 町としての評価 | |
|----------|---|------|-----|---|--------------|--------------------|-----|--------|-----|-----------|---|---------------------------------------|-----------------|------------|--|
| 施策名 | 施策目標 | コード | 主務課 | 内容 | 総コスト (千円) | 達成度 | 必要性 | 重点化 | 見直し | その他 | 短期(次年度の方向性) | 中期 | 達成状況 | 施策の 方向性 | |
| 安定した財政運営 | 創意工夫により、財源の確保が図られ、後世に過大な負担がかからない安定した財政運営が図られています。 | 6040 | 企画課 | 補助費等、公債費の経常経費の削減により、財政運営の健全化に努めた。地域スポーツ施設整備助成金を利用した南運動公園テニスコート照明設置などの補助事業等の活用を図った。町の財政状況等について関心を高めるため、バランスシートや健全化判断比率等の財務諸表により財政状況や、また預かった税の使われ方を説明した「ましこの予算」をホームページに掲載するとともに、健全な財政運営の指標とした。申告・納税相談の充実、コンビニやゆうちょ銀行などの収納場所の拡大、税金の用途のPRとともに、滞納整理事務の強化に努め、納税意識の高揚と税収の確保に努めた。 | 1,182,912 | B | B | | | ● 現状維持 | 引続き自主財源の確保のための対策としてふるさと納税の推進及び歳出削減に努める。 | 道の駅建設が予定されている中、財源の確保のため堅実な財政運営を進めていく。 | B: 順調に成果があがっている | A: 重点施策 | |
| 広域行政の推進 | 住民の生活圏の拡大に対応した広域行政が推進されています。 | 6050 | 総務課 | 計画的な広域行政の推進のため企業団、一部事務組合等の各種基本計画等に沿って、共同で事務・事業を行った。 | 78 | B | B | | ● | | 共同化等はその事業の必然性が高ければ検討し、他市町との調整のうえ行う。 | 共同化、市町村合併の研究は継続して行う。 | B: 順調に成果があがっている | B: 現状どおり | |